

2015-B					
拠出金・基金の 名称		OSCEパートナーシップ基金			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】欧州安全保障協力機構(OSCE)					
【所管官庁担当局課・室名】外務省欧州局政策課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 OSCEは安全保障, 経済・環境, 人権・人道という3つの幅広い分野において包括的な活動を行っており, 中央アジアを中心に対話促進, 国境管理, 女性のエンパワーメントなどのプロジェクト等を実施し, 主に信頼醸成を通じて地域の平和と安定に貢献している。日本は, OSCEを通じた拠出により, 我が国単独では支援困難な分野や地域における各種プロジェクトを効果的に行うことを目的としている。 平成25年度に拠出したウクライナの政治対話促進ミッションでは, 5つの地域において3週間の活動を実施してウクライナにおける緊張緩和のための基盤作りに貢献した。また, 国境管理スタッフカレッジでは, 2009年以来, 15のスタッフコースと111件の専門訓練, セミナー, ワークショップ等を開催し, 41のOSCE加盟国, 8の同パートナー国等の国境管理に関係する様々な省庁から参加した合計2,683名に対する能力構築支援が行われている。とりわけ, 日本が拠出している平成24年度～27年度においては, 300名程度の中央アジアの国境管理当局者等が参加し, 国境管理に関連する教育・訓練を受けた。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千ユーロ)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	110,695	791		1ユーロ= 140円	0
平成26年度	289,000	2,258		1ユーロ = 128円	0
平成25年度	93,254	872		1ユーロ = 107円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 OSCEは, 冷戦終焉後, 特に民主主義と法の支配の確立が地域の安全保障上不可欠であるとの考えの下, アフガニスタンや中央アジア, 最近ではウクライナにおいてプロジェクトを実施し, その実績は国際社会で高く評価されている。我が国として, OSCEとの協力関係を維持・強化することが, 国際の平和と安定に効果的に貢献することにつながるだけでなく, 国際協調主義に基づく積極的平和主義という我が国の外交・安全保障政策を実践する観点からも重要である。 我が国は, OSCEが活動する地域における対話促進, 国境管理, 女性のエンパワーメントなど幅広い分野におけるプロジェクト等への人的・財政的貢献を通じ, OSCEの広範なネットワークを介して地域情勢等に関する情報を入手することも可能となっている。					